(11) Publication number:

55090373 A

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: 53163761

(51) Intl. Cl.: B41J 3/04

(22) Application date: 28.12.78

1001	- ·	• •
เมษา	Prio	ritv:

(43) Date of application publication:

08.07.80

(84) Designated contracting states:

(71) Applicant: SEIKO EPSON CORP

(72) Inventor: MARUYAMA MITSUAKI

(74) Representative:

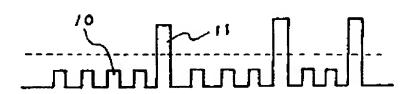
(54) INK JET RECORDER

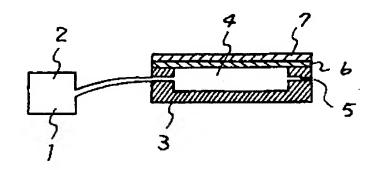
(57) Abstract:

PURPOSE: To raise the response frequency of a recording head, by always applying electric pulses of such magnitude to the piezoelectric element of an ink jet recorder that ink is not ejected from a nozzle and by heightening the magnitude of the electric pulses only at the time of printing to eject the ink.

CONSTITUTION: An ink jet recorder comprises an ink tank 1, an ink chamber 4, a vibrating plate 6, a piezoelectric element 7, etc. When an electric pulse is applied to the piezoelectric element 7, the vibrating plate 6 is deflected inward to raise the pressure of ink 2 in the ink chamber 4 to eject the ink from a nozzle 5. Electric pulses 10 of such magnitude are always applied to the piezoelectric element that the ink 2 is not ejected. Only at the time of printing, an electric pulse 11 of higher magnitude is applied to the piezoelectric element. Since the ink 2 is always slightly vibrated, an external force is applied to the ink 2 to accelerate the restoration of the ink after ejection. This results in attaining high response frequency.

COPYRIGHT: (C)1980,JPO&Japio





(9 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭55—90373

⑤Int. Cl.³B 41 J 3/04

識別記号 103 庁内整理番号 7428-2C 砂公開 昭和55年(1980)7月8日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

匈インクジェット記録装置

顧 昭53-163761

②出 願 昭53(1978)12月28日

加発 明 者 丸山三明

20特

諏訪市大和3丁目3番5号株式

会社諏訪精工舎内

切出 願 人 株式会社諏訪精工舎

東京都中央区銀座4丁目3番4

号

個代 理 人 弁理士 最上務

明,細物

1. 発明の名称 インクジェット配録装置

2 特許請求の範囲・

インク室内のインクを、前配インク室の少なくとも一部の厳面に配した圧電素子に電気パルスを与えてノメルより映射し記録媒体に写字を行なうインクジェット記録装置において、前配圧電素子にノメルよりインクが噴射しない程度の大きさのの分前記電気パルスの大きさを高めてインクを噴射することを特徴とするインクジェット記録装置。

Δ 発明の詳細な説明

本発明は、インクを入力信号に応じて噴射して 印字を行なりインクジェット記録装置に関する。 インクジェット記録装置については、すでにい くつかの方式が提案されているが、インク噴射へ ットのインク京の磁面に圧電架子を配し、これに 記録信号として電気パルスを与えることによる変形を利用してインク室内のインクをノズルより吸射する方式が、その構成の簡略さ等から最近特に往目されている。

第1回は、今までに提案されている上記の方式 によるインクジェット記録装御の一例である。 1 はインクタンクで、その中のインク2は、紀鉄へ ッド3のインク室4及びノズル5を満たしている。 インク窒4の一つの壁は、振動板6及びこれに接 煮固定された圧電素子りにより構成されている。 今、圧電器子1化配録文字等に対応した電気パル スを加えると、振動板らは内方に現み、インク室 4内のインク2の圧力が高まり、ノズル5よりイ ンク摘を噴射し、所定の文字等を記録する。かか る記録ヘッドのインク噴射の様子を微細に観察す ると、第2図に示す過程でインク摘を形成すると とが分る。この第2図は、第1図のヘッド3のノ メル5部分のみを拡大して凶示したもので、イン ク吸射時の時間経過に従つて (a)→ (b)→ (c) → (a) → (a) と変化する。即ち (a) は圧電器

特開昭55-90373(2)

子1に駆動信号電気パルスを与える直前の状態で インク 2 はノメル 5 先端でメニスカス θ を形成し ている。食気パルスが印加され、インク室4内の 液圧が高きると、インク2がノズル5先端より出 てくる。(b)は、電気パルスが解除されると、 圧電象子での挽みは復元し、インク室4内が負圧 になりノズル5から出始めたインク2を引きイン ク樀9を形成するとともに、インク室4はインク メング1からインク2の供給を受ける。このとき ノメル 5 先端のインク 2 もノメル 5 内部に引き込 まれる。 (c), (d) は、との後、インク2はノ メル5内での毛細管現象により徐々に(a)の状 態にもどる。メニスカス8が完全にもとの状態に もどつてはじめて次の圧電素子駆動電気パルスが 印加可能となるので、メニスカス8の復帰時間に よつてインク噴射の応答周波数が定まる。これを 向上させるには、復帰時間を早める必要があるが、 インク2の移動は毛細管現象のみによるものであ るからその速度は極めて遅く、とのため応答周波 数は数RHS 化とどまつている。

- 3 -

はメニスカス8がノズル5先端をぬらしインクの 液滴形成に悪影響を及ぼすことを防ぐためである。 スレッショルドレベル以下の電気パルス10を常 化与えることにより、メニスカス8はノズル5先 端付近で微少振動を続ける。との振動を効率よく 続けるためには、 意気パルス 1 0 の周波数は圧電 索子7及び振動板6と負荷となるインク室4内の インク2で決まる固有周波数に一致させると、良 い結果が得られる。とのよりにして、インク 2 に 常れ被小振動を与えておくと、印字のための電気 パルス11によりインクを噴射した後のインク2 の復帰は強制力が加わるので、復帰時間は非常に 早くなり、従来例の数倍の応答周波数が得られた。 主た、世気パルスを常に与えておくことにより、 印字電気パルス11を加えたときのインクに与え る惯性はより大きなものとなるので、インク噴射 のスピードが向上し、より安定した印字ができる という副次的な効果も得られる。

以上に説明した如く、本発明は単なる印字パルスの改良で記録ヘットの応答周波数を飛躍的に高

本発明は、上記の如き欠点を除き、 簡単を改良 で応答周波数の向上をはかることを目的としたも ので、以下実施例につき説明する。

本発明の記録ヘッドは、その構造においては従 来例と何ら変わることなく、圧電素子の駆動方法 のみ改良したものである。従つて記録ヘッドの各 部は、第1図のものと基本的に変る所はないので 説明を略す。

本発明による圧電索子の駆動方法を第 3 図に示す。

第 5 図は、圧電素子 7 に印加する電気ベルスを示したもので、圧電素子 7 にはインク 2 がノズル 5 より噴射しない程度の大きさの観気ベルス 1 0 を常に与えておき、印字に必要なときのみ大きな気ベルス 1 1 を印加する。 電気ベルス 1 0 を印加する。 電気ベルス 1 0 を印加する。 電気ベルス 1 0 を印加する。 電気ベルス 1 0 を印加する。 は気がルス 1 0 を収録するための は低値(第 3 図の点線で示し、以下といるとは、メロルドレベルという。) より小さいことは フッちんであるが、好ましくは、メニスカス 8 が ノル 5 の先端より出ない程度の大きさとする。これ

- 4 -

めることができるので、その効果は絶大である。 なむ、本発明が適用できるヘッドは、前配の実 施例に限定されないことはもちろんである。

4. 図面の簡単な説明

第1 図は、従来のインクジェット記録表徴を示 し、第2 図はその作動状態を示す。

類3図は、本発明のインクジェット記録装置の 駆動電気パルスを示す。

1 ……インクタンク

2 1 > 1

3 ……記録ヘッド

4 ……インク室

5 ……ノメル

6 … … 振動板

7 …… 圧電素子

8 ……メニスカス

9 ……インク商

10……質気パルス

11……印字包気パルス。

